ふれあい

地区委員会だより
第51号《冬号》

青少年育成葛西地区委員会

みなさんの参加でたくさんの行事が行われました

夏休み工作教室

（青少年部）8月19日㈰
二之江コミュニティ会館

手作りの難しさと集中する充実感、出来上がった時の嬉しさと満足感が手作り工作の楽しさです。日ごろデジタルなゲームに夢中の子ども達が手作り工作に挑戦しました。また、夏休みの自由研究の作品作りとしても一所懸命に取り組みました。

参加者は保護者を含めて36名です。参加者は6つのテーブルに分かれ作り始めます。テーブルでは事前に作り方を練習した地区委員が指導にあたりました。今回はペットボトル空気砲とおきあがりこぼしをつくりました。ペットボトル空気砲はボトルの下3分の1を切り取ります。この際カッターナイフやハサミを使いますが、ボトルが丸く滑りやすいので細心の注意と集中力が必要です。子ども達は地区委員の助言を受け、保護者の方と一緒に空気砲を完成させていきました。

さぁー出来上がったら遊びましょう。空気砲で射的台の的を狙ったり、飛ばせる距離を競ったりと遊び方は自由です。おきあがりこぼしは、ガムテープの芯の内部に錘を固定し色紙とシールで装飾して見た目に優しい日本の玩具の出来上がりです。

子どもが大人と一緒に手作りする機会は貴重な経験だと思います。次回も多くの子ども達の参加を待っています。

【青少年委員　森澤　實】

夏休み夜間パトロール

（青少年部）7月18日㈬
二之江地区及び長島桑川地区

7月18日午後8時から参加者17名で、青色パトカーを含め4台の車に分乗し、二之江地区と長島桑川地区のパトロールを実施しました。

葛西駅近くの公園では、ボール遊びをする親子や愛犬を連れて散歩する人から「こんばんは」、「ご苦労様です」と声を掛けられ、地域の方々の心の温かさを感じました。

声掛けや見守り活動としての夜間パトロールですが、日頃から地域の様々な団体が安全で安心して暮らせる地域づくりに取り組まれていることもあり、問題は全く確認されませんでした。

今後も地域の一員として、子どもたちを守り育てる活動の輪を広げていきたいと思いました。

【青少年委員　山田　通久】

この広報誌は世帯ごとに一部お取りください。全戸配布にご協力ください。

長島・桑川地区、二之江地区区民運動会

運動会

9月9日㈰第二葛西小学校
9月23日㈰二之江第二小学校

長島・桑川地区区民運動会では、例年以上の猛暑が心配されましたが、心地よい風の吹くなか無事に終えることができました。2,700名の参加者も気持ちの良い汗を流しました。運営にあたる従事者も元気いっぱいに走り回る子ども達の姿に、自然と笑顔がこぼれました。

その翌々週には、二之江地区区民運動会が同じくさわやかな秋晴れの下に開催されました。3,000名の参加者による熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がった大会となりました。

葛西地区委員会も運営に協力した両大会とも、世代や性別を越えたふれあい、地域のつながりを深める素晴らしい行事となりましたことを、ここに報告いたします。

【事務局】

長島・桑川地区区民運動会

二之江地区区民運動会

葛西まつり

10月14日㈰　葛西区民館周辺

葛西地区委員会として、葛西まつりにバザーを出店いたしました。

皆様にご協力いただいた物品はすべて売り切ることができました。この貴重な売上金は、青少年育成等の活動資金の一部として大切に活用させていただきます。この広報誌「ふれあい」を通し、ご協力いただいた方々に御礼を申し上げます。

今年度、「第43回葛西まつり」は、10月第2日曜日に開催されましたが、たくさんの方々に楽しんでいただけたようです。

今後も、葛西地区委員会は、葛西まつりを多方面から支えていきたいです。

【副委員長　関口　良次】

かさいちゃん
「葛西まつり公式キャラクター」

かさい君

編集後記

「ふれあい」の冬号が完成となり、地域の皆様に全戸配布となります。

前回発行の夏号の行事報告では二月の親子スケートがメインとなっており、今回の冬号は夏から秋までの活動がメインになっており、季節の呼称が「?」と感ずる方もおられるのですが、年二回の発行で夏号、冬号としたためこうなりますのでご理解願います。

発行にあたり、多くの皆様にご協力いただいたことを感謝いたします。

【広報部　部長　山本　又三】

ふれあい　第51号《冬号》
発　行：青少年育成葛西地区委員会
編　集：広報部
事務局：〒134-0083　中葛西3-10-1
江戸川区葛西事務所地域サービス係
TEL 3688-0434　FAX 3688-8441

第36回 ふれあい卓球大会

（スポーツ・レク部）8月26日㈰
二之江コミュニティ会館

今年度も二之江コミュニティ会館でふれあい卓球大会が行われ、7チームによる熱い戦いが繰り広げられました。

自治会コミニティー5が三連覇を達成するか、他のチームが巻き返しを図るか興味津々でしたが、他のチームを寄せ付けず圧倒的な勝利を収め、三連覇を達成しました。卓球大会での三連覇は初めてです。

来年度も、各チームが優勝を目標に大会を盛り上げてくださればと思います。結果は左記のとおりです。

優　勝　自治会コミニティー5
準優勝　長島町会A
第3位　桑川町親和会

【スポーツ・レク部 副部長　嶋田　孝志】

第38回 ふれあい女子バレーボール大会

（スポーツ・レク部）8月26日㈰
二之江小学校・二之江第三小学校

酷暑という言葉さえも生温い、昨年の夏でしたが、その暑さも忘れてしまう程、白熱した試合が展開されます。ベテランが熟練の技を駆使すれば、その一挙手一投足をいずれチームの柱になるであろう、次世代の選手が見る、そういう場面を何度も目にしました。

次回以降が楽しみです。過酷な環境の中で最高の試合を見せてくれました。

優　勝　長島町会B
準優勝　長島町会A
第3位　桑川町親和会

【スポーツ・レク部 副部長　立花　誠】

まちなか探検クイズ！ ポイントラリー&ドッヂビー

（青少年部）12月2日㈰
二之江地区・新川沿川（二之江第三小学校集合）

今年度も12月2日に青少年部主催のポイントラリーを行いました。最初は、参加者が少なく開催がむずかしいと思っていましたが、当日参加も有り開催する事が出来ました。ポイントラリーの答えはほとんどが正解で点数の差が無く、ドッヂビーで的に当てた回数で点数が決まる様にしてあります。今回は、二之江第三小学校からスタートし古川親水公園の周辺を探検し、区民農園・くまの公園などを回り新川に出て、新川沿いを探検し、二之江第三小学校に戻って来ました。農園では、野菜を頂いたチームもあり、きっとお母さんにおいしい料理を作ってもらい食べたと思います。

本格的な冬の到来を感じた寒い日でしたが参加者全員が無事に帰って来ました。コースの途中には、安全のために地区委員の方々を配置、また一緒に歩いてもいただきました。協力いただいた地区委員の皆様、本当にありがとうございました。

また来年度もポイントラリーを行いたいと思いますので、大勢の子ども達の参加をお待ちしております。

【青少年部 部長　林　美津江】

夏期講演会『子どもの早起きと健康』

（研修部）7月1日㈰　葛西区民館

昨夏7月1日、小児神経学の権威、星野恭子先生をお招きし成長期にある子どもの睡眠の重要性を講演していただきました。

昨今、女性の社会進出が目覚ましい中、どうしても子どもと接する時間帯が遅くなりがちで、多くの子どもたちが夜型生活になっているようです。そうした生活習慣は、成長過程にある子どもの脳の発達にどのように悪影響を及ぼしているか科学的根拠を示しながら、分かりやすく丁寧に解説していただきました。親御さん達は、反省と同時に改善方法が分かり大変有意義であったようです。

現代、物質的に恵まれ、また過剰ともいえるサービスが当たり前の環境があります。

ついつい「忙しいから、疲れているから…」と子ども達にそれをあてがい、代償行為的に過ごしているのではないか、「子育ての基本的な且つ重要な時期だけは、何とか子ども中心の生活を送ってほしい」と、先生からのメッセージでもあったように感じました。

「子どもは国家の宝」と申しますが、少子高齢化が進む中、どのように子育てというバトンリレーをサポートし、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりに貢献できるか、研修部として今後も考え続けたいと感じています。

【研修部 副部長　荒木　一秀】

秋期講演会『ネットとの正しい付き合い方』

（研修部）11月3日㈯　葛西区民館

今年度は、11月3日、葛西区民館にファミリ eルール事務局の寺田幸人先生をお招きし、近年一つの社会問題にもなっているネットとの正しい付き合い方について講義をしていただきました。

まず先生は、各自の個人情報が流出してしまうと、どんな手立てを尽くしても消すことはできないとおっしゃいました。

最初の映像は、通信可能な携帯ゲーム機から個人情報が流出してしまうという話で、油断していると大変なことになるのだと思い、恐ろしい気がしました。

次に先生は、ネットによる架空請求のお話をなさり、正しい対応は何もしないことだとおっしゃいました。つまり、無視をすることです。

二番目の映像には、疲れ果てて何もする気力の無い高校生が登場します。彼はネット依存症の患者です。ネット依存症は、30年ほど前にアメリカで社会問題になりましたが、スマホ時代のネット依存は、それと較べ物にならないほど深刻化する恐れがあります。家庭のルール作りも大切ですが、社会が一丸となって方策を立てることが必要になるかも知れません。

【研修部　髙橋　喜郎】